

工芸デザイン 科 学習指導計画案

指導教員

・学校名 _____ 実習生 _____

・日時 2013年 5月 31日 (金曜日) 第 5校時 場所 _____

・対象 3年 3組 (生徒数:男子 21 名、女子 2 名;合計 23 名)

・単元名 インテリア装備

・単元のねらいと指導について

(1) 教材観・題材観

本校の「インテリア装備」は「材料分野」の学習が大部分を占めているが、「材料」では使用目的や特徴を中心とした授業を展開するにあたって「工法」の特徴や形態の概観をし、「インテリア装備」「製図」「計画」等との関連させながら、「材料」をより効率的に指導する必要がある。

(2) 生徒観

木造在来工法や鉄筋コンクリート工法などの言葉を知っているが、その意味や特徴までは理解していない。身近な建築物を例示し、イメージしやすい環境をつくる。併せて、木造在来工法・2×4工法・パネル工法等の違いを認識させる。

(2) 指導観

身近な建築物を例示し、建築物の工法の特徴を説明することによって、それらの違いをイメージさせる。また材料とも連携させ、材料の違いについて理解させる。他の授業とも関連付けながら双方の理解を深める。

・単元の指導計画 (配当時数および本時の位置づけ)

・本時の主題名 建築工法

・本時の指導目標

(1) 工法とは何かを確認し理解させる。
(2) 各工法の特徴を確認し、その違いを理解させる。

関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
工法の特徴や違いについて興味・関心をもち、その知識の習得を目指し、授業に対する姿勢や取組が意欲的である。	各工法の違いは何か、各工法がどのような特徴・形かを考えている。	工法の種類を正確に提示できる。工法の特徴・違いを答えることができる。	各工法の特徴と違いを理解したか。

・使用する教材・教具

(プリント・教科書)

・本時の指導過程

	指導項目	指導内容	学習活動		指導上の留意点	時間
			教師のはたらきかけ	生徒の学習活動		
導入	・挨拶 ・出欠確認 ・本時の説明 ・復習	工法の種類を例示する。	「知っている工法の種類を挙げなさい」という発問し、工法名を確認する。	「知っている工法の種類を挙げなさい」という発問に対しての答えを考える。	ヒントを出し、答えさせる。 難しい漢字や間違えやすい感覚があった場合は確認しながら板書する。	5分
	展開	・木造在来工法の説明	木造在来工法の定義を理解させる	木造在来工法の定義を理解させ、その定義をノートに記入させる。	木造在来工法の定義を記入し理解する。	40分
		・木造在来工法の特徴の説明	木造在来工法のメリット・デメリットを質問を交えながら説明する	木造在来工法のメリット・デメリットについて発問し、答えさせる。	発問に対しての答えを考え、発表された答えをノートに記入する。	
展開	・2×4工法の説明	2×4工法の定義を理解させる	2×4工法の定義を理解させ、その定義をノートに記入させる。	2×4工法の定義を記入し理解する。	二つの工法の差異について説明する	40分
	・2×4工法の特徴の説明	2×4工法のメリット・デメリットを質問を交えながら説明する	2×4工法のメリット・デメリットについて発問し、答えさせる。	発問に対しての答えを考え、発表された答えをノートに記入する。		
整理	・本時のまとめ ・次回の予告	本時のキーワードについて、ノートを見ながら整理し、その特徴を理解させる。	工法の特徴についての発問に答え、確認する。	工法の特徴についての発問に答え、確認する。		5分